3月の園だより

学校法人志賀学園
久之浜こども園
令和８年２月２７日

こども園の花壇やプランターに、チューリップの芽が出始め、一雨ごとに芽が葉となり寒さの中にも春の訪れを感じる今日この頃です。

ミラノ・コルティナオリンピックが、過去最多のメダル24個を獲得して終わりました。70 年前にコルティナで行われたオリンピックで、男子大回転競技の猪谷千春さんが初めてメダルを１個取ってから70年のときを経て、今回は通算100個目のメダルとなりました。このことは、日本の国が平和でスポーツにいそしめた証でもあります。世界を見ると戦争が続いていて生きるのに精いっぱいの人達もいます。どうか日本の平和が続くことを願うばかりです。喧嘩をしてはいけないということ！喧嘩をしたら仲直りをする！ということを、兄弟や友達との色々な体験を通して幼少期から人との関わりを教えていきたいですね。

３月３日は『ひな祭り』です。ひな祭りは桃の花が咲く頃に行われるので『桃の節句』とも言われています。お雛様を飾り始めるのは立春から2月中旬頃が一般的ですが、『雨水』の日に雛人形を飾ると良縁に恵まれるという言い伝えがあることから、園では毎年雨水の日にお雛様を飾ることにしています。玄関ホールに飾ったお雛様を、子ども達が代わる代わる見に来ます。3歳児は『お内裏様とお雛様』の名前はわかっていますが、4歳児になると『三人官女や五人囃子』までわかっている子どもが多く、5歳児になるとぼんぼりまでわかっていて♪灯りをつけましょ　ぼんぼりに・・・♪と歌いながら、お人形やお道具の名前を知識として確認しあいました。園の玄関ホールには七段飾りのお雛様のほかに、先日ルクミーでおしらせしましたアリオスに展示されている『四季の和のつるし雛』を主宰している吉原勝枝さん作のつるし雛他、これまでにご寄付頂いたつるし雛が玄関ホールに展示されておりますので、どうぞお立ち寄りになりご覧ください。

今年は３月 20 日（金）が『春分の日』です。昼と夜の長さがほぼ同じ長さになり、これから夏至にかけて少しずつ昼が長く、夜が短くなっていきます。春分の日の３日前からの７日間を『春の彼岸』、春分の日は『彼岸の中日』と言います。『暑さ寒さも彼岸まで』の通り温かくて過ごしやすい気温に、早くなってほしいものです。

今、園内には打楽器の音やメロディ楽器の旋律が響いています。子どもたち一人一人が好きな楽器に触れ楽しんで演奏したり、少しだけ難しいリズムやメロディに挑戦したり・・・と、子ども達は音楽に触れる時間を主体的に楽しんでいます。もうすぐハートフルコンサートがありますが、2 歳児、3 歳児は、これまで歌ってきた『きらきらぼし』や『むすんでひらいて』を歌います。また、4 歳児になると昔から歌い継がれてきた『春が来た』5 歳児は『きみのこえ』『ありがとう　だいすき』『素晴らしい言葉』など音域も広がり素晴らしい歌声です。出来るようになったことを、発表しますのでお楽しみにおいでください。